

# KIYOTA VOLLEYBALL



昨日から学校が始まりました。少し暑さが和らいできたように感じます。

今回は夏休み成長計画第2クールの経過をお伝えします。前回と課題が大きく変わりました。

8/7 OFF 8/8.9 千歳合宿（通い） 8/10~12 帯広合宿（帯広三条高校）

第2クールのテーマは「自立」でした。この期間の出だしまずは監督不在です。困っても自分たちで解決して行かなければなりません。今年度の副顧問の先生が非常に熱心で、期間中ついてくれていましたが、その数日でも彼らの会話が増えたことを感心して伝えてくれていました。そのテーマに合わせるようにチームの新アイテムを投入し、少しずつまとまりが出てきたように感じます。



合宿の醍醐味は共同生活です。特に帯広の合宿ではご飯の配膳や食器の片付け、布団の運び込みや使用した合宿所の清掃まで全てを協力して行います。さらに本校だけでなく、他行との共同もありますから自分本位ではうまくいきません。チームスポーツをする上でこうした考え方は非常に重要です。他人との共同を試行錯誤することが、どこかでバレーボールにつながってくると思います。その成長の表れとして、コート内外での会話が非常に増えました。Bチームも試合をする機会をもらったので、一層中身が深まります。



第2クールの「自立」は、非常に大きくチームの構築を促進してくれたように思います。今までは「バレーに興味がある」個別の塊だったものが、少しずつルールを覚え、動きを覚え、約束事やかける声を増やしていき、そのうちできなかったことができ始め、面白いと感じる。バレーは繋ぐスポーツですから、でき始めると続けたい（ラリー）。そして最後は相手の繋がりを破ろうとする（オフェンス）。今回の成長の一番のポイントはもっと攻めたい（オフェンスしたい）という意欲が見えたこと。しかし、ここからがバレーボールの深さであり壁になることが生じてくる瞬間なんです…。 次号へ続く